



# のぼる ししくら登県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 県と千葉市の架け橋に



宍倉県議 幕張新都心整備において、これまで、千葉市との連携をどのように図ってきたのか。また、今後は、都市の魅力づくりという点でも、千葉市と一体となつて整備を進めていく必要があると思うがどうか。

企業庁長 幕張新都心については、国際業務都市のまちづくりを進めるため、用途地域などの都市計画決定や、道路、公園などの都市施設等に関して、千葉市と協議調整を行いながら、着実に整備を進めてきております。今後とも、文教地区や拡大地区など残された未利用地を活用して、ライフスタイルの多様化に対応した、アメニティ豊かな都市づくりのため、千葉市とのより強い協力関係を築きながら、整備を進めてまいりたいと考えております。

宍倉県議 千葉市とのより効果的な連携のためには、県側においても現在複数に分かれてしまっている関係部局間の調整を円滑に行うことが求められると考えるので、三角構想を策定したときのような全庁一体となった推進体制を整備について検討していただきたい。

森田県政初の予算編成となる平成二十二年度予算議会の予算委員として審議に参加いたしました。前知事の時代は大きな柱(施策)を中心に県政が運営されておりました。森田知事は総合計画を策定し、県全体の方向性を定める方法であります。このたび、輝け！ちば元気プランという総合計画を策定し、十年後には「くらし満足度日本一」を目指し県内にずっと住み続けたいと思う人の割合を八五%（現在は七七・七%）を超えることを目指そうとしています。

そこで私からはこれまでの事業成果(幕張、かずさ、成田、東葛地域)を有効に活用していくためのネットワーク作りについてうかがいました。また、地方分権の進捗については、県から市町村への分権は県独自の判断で進みますので、これまでの経過と今後の計画をうかがいました。その他、教育問題や高齢者福祉対策について、より詳細に質問しました。昨年からは、国は民主党政府、県は自民党中心の議会であります。これまでの自民党政府の時代とは違う大きな変化の中での県政になりましたが、今後もこれまでと同様に、県民本位、県民生活の向上を念頭に活動してまいりますので、皆様方のご支援をお願い申し上げます。

## 県民生活向上へまい進

ししくら登 県民生活の向上を念頭に活動してまいりますので、皆様方のご支援をお願い申し上げます。

## 交流拠点都市に成田など4地域

宍倉県議 県の総合計画ですが、はじめに、総合計画では「地域編」を設けないなかで、成田国際空港都市、「柏・流山地域」「幕張新都心」、「かずさ地域」の四つの地域を交流拠点都市として取り上げたのは、どういう考え方によるのか。

## 交流拠点都市結ぶ幹線道路 ネットワーク充実強化

宍倉県議 交流拠点都市の連携強化を支える広域的な幹線道路ネットワーク整備の取組状況はどうか。

県土整備部長 交流拠点都市相互を結ぶ広域的な幹線道路ネットワークを充実強化するということは非常に重要であると考えております。

そこで、東関東や千葉東金道路などを環状につなぐ圏央道、外環の整備促進や、成田空港のアクセス強化に寄与する北千葉道路の整備を、開通時期の目標を明確にして重点的に進めていく予定です。

また、これらを補完する地域の幹線道路となる国道

## 千葉市花見川特集 2月県議会予算委員会

政令都市、千葉市花見川区の大勢の市民の後押しで、宍倉登(ししくら)のぼる(が)市議会から県議会へ活動の場を移してからはや十五年、四期目も半ばを過ぎ、その発言は県政界にあつて、ますます重きを増しています。常に次の時代を見据えて行動する宍倉県議ですが、二月県議会予算委員会では、あすの千葉県をつくる県の総合計画についてさまざまな視点から森田知事らに質問し、県の施政方針を質しました。宍倉県議の主な質疑を特集します。

## 新幕都心張 千葉市と協働し整備を

**ししくら登県議プロフィール**

○経歴○

- 昭和24年11月 千葉市花見川区に生まれる
- 昭和50年3月 明治大学法学部卒業
- 昭和58年4月 千葉市議会議員に初当選(3期連続当選)
- 平成7年4月 県議会議員に初当選(4期連続当選)

○現職○

- 県議会 予算委員会委員
- 県議会 総務常任委員会委員
- 党県連 広報本部長
- 千葉市花見川区サッカー協会会長
- 幕張中学校区青少年育成委員

●県政や市政についてあなたの声を聞かせてください!

ししくら登事務所 TEL043-271-0606 FAX043-271-0605

〒262-0032 千葉市花見川区幕張町3-892

# 県民への周知と機能向上を

## 地域包括支援センター

**宍倉県議** 地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメントなどを総合的に行う地域包括支援センターの設置状況はどうか。

**健康福祉部長** 地域包括支援センターは、平成二十二年三月一日現在、県内五十六市町村において百二十カ所が設置されています。

**宍倉県議** 地域包括支援センターについて、県民への周知を図るべきであると考えますがどうか。

**健康福祉部長** 地域包括支援センターについては、

## 56市町村に112カ所

設置主体である市町村において、広報誌やパンフレットの配布などにより住民への広報に努めています。

県としても、県ホームページにセンターの業務内容や市町村別一覧を掲載しているほか、三月五日の県民だよりにおいてセンターの紹介を行ったところであり、今後とも市町村と連携して周知に努め、県民の利用促進を図ってまいります。

**宍倉県議** 地域包括支援センターの機能向上を図るため、県は市町村をどのように支援していくのか。

**健康福祉部長** 県では、地域包括支援センターにおいて介護予防事業や相談支援業務等に従事する保健師、主任介護支援専門員などの職員を対象として、ケアプランの作成や利用者ニーズの把握方法などについて、演習や事例検討を取り入れた研修を実施し、センターの業務が円滑に行われるよう支援しています。

今後は、センターが抱える課題などについての調査を行い、その役割や運営等について市町村とともに評価・検討するなどして、地域包括支援センターの機能の向上に取り組んでまいります。



質疑者

2月県議会予算委員会で、幕張新都心整備などについて質問する宍倉登県議

## 1026事務を市町村に移譲

### 地方分権推進で県

**宍倉県議** 地方分権についてですが、県独自の市町村への権限移譲はどのような進め方なのか。

**総務部長** 県独自の市町村への権限移譲は、住民の利便性の向上や市町村の自主性・自立性の強化を図るため、現在、市町村に九十四項目千二百六十六事務を移譲しています。

また、移譲事務に係る財源として、平成二十一年度

は約一億二千万円余の交付金を市町村に交付しております。

さらに、市町村への支援として、説明会や研修会などの開催や事務処理マニュアルの作成、移譲後の個別相談、情報提供などを行っております。

加えて、人的支援として、専門的知識・資格が必要な場合、市町村の要請により県職員の派遣、あるいは市町村職員の研修生としての県への受け入れなどを行っております。

今後も、このような市町村への支援の制度、あるいはパッケージリストを示しながら、移譲が進まない具体的な調査を行いつつ、市町村への権限移譲を積極的に進めてまいりたいと思っております。

**要 望**

- 骨格道路や空港へのアクセスは、国の責任で、整備していくよう、要望します。
- 今後の県立高校の、一つの在り方として、自立した社会人を育てる「地域連携アクティブスクール」を県内にしっかりと根付かせていただきたい。

## 県と千葉市が設置

## 『対等・協力』へ連絡会議

**宍倉県議** 新たな県と千葉市の良好な関係を築いていきたいとのことだが、そのためにどのような話し合いの場を持つているのか。

**総務部長** 昨年九月七日に知事と市長が会談し、懸案事項等について、副知事と副市長を窓口とし協議していくことが確認されました。これを受け、平成二十一年十二月一日に、「千葉県と千葉市の新しい関係づくり連絡会議」を設置いたしました。

その目的は、県と市のそれぞれ役割の明確化や適正化を図り、真に対等・協力の関係を築くために、必要な事項について話し合うことです。

主な協議事項は、一つは、連携・協力に関するあり方の検討と見直し、二つ目として、その他必要な事項の

検討及び情報共有です。会議の招集は、必要に応じて開催することとしています。

メンバーは、副知事、副市長、県の総務部市町村課長、市の政策調整課長、そして必要に応じて関係の課室長です。事務局は、県は総務部市町村課、市は政策調整課が担当することとしています。

**宍倉県議** 千葉市との新たな関係の構築について、具体的にはどのようなこととを協議しているのか。また、成果はあるのか。

**総務部長** 具体的には、子どもの医療費助成を中心とした医療費助成制度のあり方、幕張新都心のあり方、企業庁所管の公共施設の移管などについて、協議を行っているところです。

協議の結果、成果といたしまして、子どもの医療費の助成について、平成二十二年年度まで定額一億円の補助をするものとしていたものを、平成二十二年年度当初予算からは、定率の六分の一の補助とすることで合意しました。また、企業庁所管の公共施設については、浜田川横水路など合計四水路を県から市に移管することで合意しました。

## 花見川区の刷新のため

# ししくら登県議

千葉市花見川区特集 2月県議会予算委員会

突

倉

のぼる

登

議